

Baja バヤ市

地域：南部平野

県：バーチュ・キシュクン

人口：37707 人

人口密度：211,54 人/km²

面積：177,61km²

名称の歴史

「バヤ」という言葉はトルコ語から由来している。

意味は「牡牛」だが、王子の名前とも言われている。



バヤの歴史

バヤには青銅器時代から人々が住んでおり、ローマ時代の住居跡もある。川沿いにあり、重要な河港の1つだったので、ハンガリーを建国した人達もここに居着いた。「バヤ」という名前が登場したのは1324年。

16世にトルコに占領された後、軍事要塞となった。

17世に占領状態から解放された後、町の工業、商業、文化が栄え始めた。そして周辺地域で最も大きな商港もできた。しかし、1739年の疫病、1751年の洪水そして1848年の火事と3度の大災害に見舞われた。

第一次世界大戦時にセルビアに占領されたが、1921年に解放された。

現在も地域の重要な工業地帯、商港地域である。

バヤで一番有名な人物はイェルキ・アンドラシュ氏である。かれは18世の冒険者で、アジアで色々な冒険を行った。海賊に捕まったりもしたが、脱出し、後にオランダの軍に従軍した。このとき中国、日本や東南アジアにも旅行した。1778年にハンガリーに戻り、1783年にブダペストで亡くなった。

バヤの名所



静かで、自然の近く位置するバヤ市は水郷が有名だが、その他にも歴史的な名所がいくつかある。特に町の中心の建物が素晴らしい。

[三位一体広場]

バヤの中心にある四つ葉のクローバ形の広場。美観。西の方にシュゴウウィサ川が流れており、対岸にある州も素敵な景色である。

[三位一体の像]

三位一体広場にある像は町で一番古いの石碑で、18世にバロック様式で作られ。像の中心に三位一体の象徴があり、下には聖母、そして四名のエバンジェリストが従う。

[公会堂]

シュゴウウィサ川に面する広場に町の公会堂がある。ここは昔グラッシェルコウィチュ家の私有地であった。1862年に町の公会堂になった。公会堂の後ろにサント・アントル教会がある、1756年にバロック様式で建てられた。鐘楼は昔は火の見そして監視用の塔として使用された。

[遊歩道]

エオトウシュ道りという名前があるが、市民からは遊歩道と呼ばれている。ここにはカフェバーやアイスクリーム売り場やレストランなどが並んでいる。昼には、動物好きな人が鳩に餌をやっている姿も見ることができる。遊歩道は町の心とも言われている。

[トート・カルマーン広場]

中心の近くある広場にはトート・カルマーンというハンガリーの昔の有名な詩人だった人の名前がつけられている。この広場にきれいな花時計があり、広場の西側には聖ペーテル・聖パウル教会がある。同協会の壁画は1930年に作られた。

[デーリ公園]

この公園は、バヤ市に生まれ19世の有名な工場主だったデーリ・フリジェシュ氏の寄付金でつくられた。このためデーリ公園と呼ばれている。公園の中心に第一世界大戦の記念碑が見える。デーリ公園を通るロークシュ通りや墓地、そして墓地の会堂は観光名所となっている。

[アディ・エンドレ図書館と公民館]

バヤで最も美しい建物と言われている。もともとは1845年に建てられたユダヤ教会の建物である。

[ペトーフイ島]

島の名前はハンガリーで最も有名な詩人「ペトーフイ・シャンドル」に由来している。この島は、町の中心近くのシュゴウィザ川にある。島内にはレストランやプールやホテルがあり、川で釣りや水上スポーツをする人も多い。特に夏はビーチがおすすめである。

[漁師の川原]

ペトーフイ島と三位一体広場を結ぶ橋から始まる通りは若者が集まる娯楽地域である。ここにはレストランやクラブがたくさんあり、また通りを歩くとシュゴウィザ川とドウナウ川のデルタまで行くことができる。

バヤのレストラン

バヤでは特に下記のレストランがおすすめである。バヤはドナウ川に面していることもあり、魚料理がおいしい。例えば「ラーツ鯉」。これは芋と一緒に焼いた鯉です。また『漁師のスープ』（ハラースレー）も有名です。ハラースレーには鯉やその他の魚、そして玉ねぎや麺が入り、スパイスもふんだんに使用されています。（バヤに行ったら、是非ハラースレーを食べてみてください！）

Fondü Menü Étterem

フォンズ・メニュー・レストラン

住所 Vasútállomás 1.

電話 79/422-704



Halászsárda

ハラース・チャールダ

住所 Damjanich u. 1.

電話 79/325-788

Kamarás Étterem

カマラーシュ・レストラン

住所 Deszkás u. 2.

電話 79/421-092

Korzó Vendéglő

コルゾウ・レストラン

住所 Bartók B. u. 2.-4.

電話 79/322-608

Malom Étterem

マロム・レストラン

住所 Szegedi utca 19 .

電話 30/531-8747, 30/616-4306

Magyar Étterem

マジダル・レストラン

住所 Batthyány u. 13.

電話 70/372-8364

Potyka Csárda

ポツカ・チャールダ

住所 Dunafürdő

電話 79/421-961

Sobri Halászsárda

ショブリ・ハラスチャルダ

住所 Petőfi-sziget, Március 15. stny. 10.

電話 79/420-654

バヤのホテル

[ドナウ・ウェルネス・ホテル]

バヤの中心広場に面するこのホテルは 1846 年に建てられた。ホテルの中にはレストランもあり、フィンランド・サウナやマッサージ、ソラリウムなどもある。

電話 79/323-224

住所 6500 Baja, Szentháromság tér 6.

[ナプフェーニュ・ホテル]

郊外にあり、とても静か。値段もあまり高くない。

電話 06 79/321-052

住所 6500, Baja, Monostori út 47.

[ホテル・カイセル]

バヤ市内ではあるが、周りは静か。値段もあまりたかくない。

電話+36-79-520-450

住所 Tóth Kálmán u. 12

町の歩き方

お勧めの散策コースを紹介する。

町の中心にある広場(1)から始め、広場や三位一体の像(2)を見る。

南の方には町の公民館(3)がある。

その後、左の方にツッル・イシュトワン博物館(4)のほうに行く。そこから遊歩道が始まります。

博物館から北にへ向かうとミクローシュ教会(5)に着く。

そのまま行くと図書館(6)に着く。そこから南の方に戻り、シュゴウィツァ川筋(7)まで歩く。

